



セカンド・パーティ・オピニオン

SECOND PARTY OPINION

---

キリンホールディングス株式会社

ソーシャルボンド債券発行後 定期レビュー(第1回)

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸, 日本

Date: 2023年6月23日

Ref. Nr.: PRJN-340461-2022-AST-JPN-02

## 目次

I. スコープと目的	3
II. プロジェクト概要	4
III. キリンホールディングスの責任と DNV の責任	4
IV. DNV 意見の基礎	5
V. 評価作業	6
VI. 観察結果と DNV の意見	7
スケジュール-1 ソーシャルボンド プロジェクトリスト	10
スケジュール-2 ソーシャルボンド適格性評価手順	11

### 改訂履歴

改訂番号	発行日	主な変更内容
0	2023年6月23日	初版発行

### Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by Issuer to us as part of our review procedures have been provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not have been detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

### Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17021:2011 - Conformity Assessment Requirements for bodies providing audit and certification of management systems, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct<sup>1</sup> during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements. This engagement work was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. DNV was not involved in the preparation of statements or data included in the Framework except for this Statement. DNV maintains complete impartiality toward stakeholders interviewed during the assessment process.

<sup>1</sup> DNV Code of Conduct is available from DNV website ([www.DNV.com](http://www.DNV.com))

## I. スコープと目的

麒麟ホールディングス株式会社(以下、麒麟ホールディングス)は、DNV に 2022 年 6 月 7 日に発行した「ソーシャルボンド」の債券発行後定期レビューの実施を委託しています。DNV における債券発行後定期レビューの目的は、麒麟ホールディングスが、後述する基準であるソーシャルボンド原則(以下、SBP)及びソーシャルボンドガイドライン(以下、SBGLs)に合致していることを確認するための評価を実施し、このソーシャルボンドの適格性についてセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

麒麟ホールディングスは 2022 年 6 月 7 日にソーシャルボンドの債券を発行しました。この債券の発行額は 200 億円です。DNV は、SBP 及び SBGLs に基き、麒麟・サステナブルファイナンス・フレームワーク セカンド・パーティ・オピニオン(2022 年 3 月 18 日発行)に続き定期レビュー(第 1 回)を実施しました。

DNV は独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、麒麟ホールディングスとは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

また、この報告書では、ソーシャルボンドの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の社会的便益に関する保証も提供されません。

### 適用又は参照される基準

No.	基準もしくはガイドライン	発行者	適用レベル* <sup>1</sup>
1.	ソーシャルボンド原則	国際資本市場協会、2021	適用
2.	ソーシャルボンドガイドライン	金融庁、2021	適用

\*<sup>1</sup> 適用：各原則やガイドライン共通の 4 つの核となる要素全てに対する適格性を評価した

## II. プロジェクト概要

キリングroupは「CSV パーパス」における重点課題のひとつに「健康」を掲げており、中でも「免疫」「脳」「腸内環境」を重点領域として、キリングroupのコアコンピタンスである発酵&バイオテクノロジーにより産み出される戦略素材を用いた商品およびサービスを通して、これら領域における健康課題を解決しています。

具体的には、栄養へのアクセス向上、脳機能のパフォーマンス向上と衰え予防の支援や、免疫機能の維持支援などを重要な取組みとして掲げています。微生物を活用した発酵生産技術によって大量生産に成功した、ヒトの母乳独自の栄養成分であるヒトミルクオリゴ糖や、キリンの脳研究から生まれた、加齢に伴って低下する“記憶力を維持する”ことをサポートするキリン独自素材「βラクトリン(シチコリン)」、免疫の司令塔である pDC(プラズマサイトイド樹状細胞)を活性化する世界初のプラズマ乳酸菌など、さまざまな研究開発の成果として高機能な製品を提供することで、日本だけでなく、世界の社会課題や健康課題の解決に貢献しています。

今回、キリンホールディングスは、適格性が確認された 3 つのプロジェクトに合計 200 億円を資金充当しました。

適格プロジェクト	ソーシャル分類	対象となる人々	SDGs への貢献
ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資・運営・原材料の調達	必要不可欠なサービスへのアクセス(健康・健康管理)	一般大衆	目標 2、3、9
シチコリン製造に資する設備投資・運営・原材料の調達		一般大衆、高齢者、患者	目標 2、3、9
プラズマ乳酸菌の研究開発及びプラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資・運営・原材料の調達		一般大衆、高齢者、脆弱な若者	目標 3、9

## III. キリンホールディングスの責任と DNV の責任

キリンホールディングスは、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しました。DNV のセカンド・パーティ・オピニオンは、独立した意見を表明するものであり、我々に提供された情報を基に、確立された基準が満たされているかどうかについてキリンホールディングス及び充当されたソーシャルボンドの利害関係者に情報提供することを意図しています。その業務において我々は、キリンホールディングスから提供された情報、及び事実に依拠しています。

DNV は、この意見表明の中で参照する選定された資産のいかなる側面に対して責任がなく、また試算、観察結果、意見又は結論が不正確である場合、それに対し責任を問われることはありません。従って DNV は、キリンホールディングスの関係者から提供されたこの評価の基礎として使用された情報やデータの何れかが正確または完全でなかった場合においても、責任を問われないものとします。



#### IV. DNV 意見の基礎

DNV は、発行体にとってより柔軟なソーシャルボンド適格性評価手順(以下、「手順」)を適用するために、SBP 及び SBGLs の要求事項を考慮したキリンホールディングスソーシャルボンド評価手順を作成しました。スケジュール-2 を参照してください。この手順は SBP 及び SBGLs に基づくソーシャルボンドに適用可能です。

DNV の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、ソーシャルボンドが「社会便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」というものです。

DNV の手順に従って、レビュー対象であるこのソーシャルボンドに対する基準は、以下の 4 つの要素にグループ分けされます。

- **要素 1：調達資金の使途**：調達資金の使途の基準は、ソーシャルボンドの発行体は、ソーシャルボンドにより調達した資金を適格プロジェクトに使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な社会便益を提供するものです。
- **要素 2：プロジェクトの評価及び選定のプロセス**：プロジェクトの評価及び選定の基準は、ソーシャルボンドの発行体が、ソーシャルボンド調達資金を使途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。
- **要素 3：調達資金の管理**：調達資金の管理の基準は、ソーシャルボンドが発行体組織によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。
- **要素 4：レポート**：レポートの基準は、債券への投資家に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的かつ適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

## V. 評価作業

DNV の評価作業は、発行体によって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

### i. ソーシャルボンド発行前アセスメント(\*この報告書には含まれません)

- この評価に資する上述及びスケジュール-2 に関し、ソーシャルボンドへの適用を目的とした発行体特有の評価手順の作成
- この債券に関して発行体より提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照
- 発行体との協議及び、関連する文書管理のレビュー
- 基準の各要素に対する観察結果の文書作成

### ii. ソーシャルボンド発行後アセスメント \*今回報告内容

- ソーシャルボンド発行後に、発行体により提供された根拠書類の評価、包括的なデスクレビューによる補足評価
- 発行体の管理者へのインタビュー及び関連する文書管理のレビュー
- 現地調査および検査(必要な場合)
- 発行後時点での対象プロジェクト及び資産のレビュー(スケジュール-1 に記載された内容の更新)
- 発行後検証での観察結果の文書作成

## VI. 観察結果と DNV の意見

DNV の観察結果と意見は以下の通りです。

### (1) 調達資金の用途

DNV は、キリンホールディングスがソーシャルボンドにより調達した資金全額が SBP 及び SBGLs で示される以下の適格プロジェクトに合致したソーシャルプロジェクトに資金充当されたことを確認しました。

これらのプロジェクトは社会的便益を有すると共に、3 つの SDGs(「2. 飢餓をゼロに」「3. すべての人に健康と福祉を」「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」)にも貢献する取組みであることを確認しました。

<ソーシャルプロジェクトカテゴリ>

#### ■ 必要不可欠なサービスへのアクセス(健康、健康管理)

適格プロジェクト	充当時期(実績)	充当額
ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資	2022 年 6-12 月(完了)	73 億円 <sup>*1</sup> (リファイナンス割合 86.8%)
シチコリン製造に資する原材料の調達	2022 年 6-12 月(完了)	95 億円 (リファイナンス割合 58.7%)
プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資、運営、原材料の調達、プラズマ乳酸菌の研究開発	2022 年 6-12 月(完了)	32 億円 (リファイナンス割合 90.0%)
	合計	200 億円 (リファイナンス割合 74.0%)

\*1：充当は現地通貨で行われていますが、DNV はアセスメントを通じ、円換算での充当額が適切であることを確認しました。

### (2) プロジェクトの評価及び選定のプロセス

DNV は、レビューを通じてキリンホールディングスが、「CSV パーパス」、「持続的成長のための経営諸課題(グループ・マテリアリティ・マトリックス)」における重要課題と密接に関連したプロジェクトを、経理部及び CSV 戦略部がフレームワークで定めた適格クライテリアを満たすプロジェクト(適格プロジェクト)として選定し、財務戦略担当執行役員が選定された適格プロジェクトの最終決定を行ったことを確認しました。

DNV は、キリンホールディングスが、当該プロジェクトの選定に当たり「適用又は参照される基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響を評価、検討し、環境・社会的リスクを事前に確認していることを確認しました。

### (3) 調達資金の管理

DNV は、キリンホールディングスが債券発行から定期レビューまでの間、どのように資金を追跡管理したか確認しました。

キリンホールディングスは、ヒトミルクオリゴ糖製造に資する THAI KYOWA の生産設備投資に対してソーシャルボンドで調達した資金の内、73 億円(リファイナンス割合 86.8%)を充当していました。なお、充当は現地通貨で行われていますが、DNV はアセスメントを通じ、円換算での充当額が適切であることを確認しました。

また、シチコリン製造に資する原材料の調達に対して調達資金の内、95 億円(リファイナンス割合 58.7%)を充当していました。

さらに、プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資、運営、原材料の調達、プラズマ乳酸菌の研究開発に対して調達資金の内、32 億円(リファイナンス割合 90.0%)を充当していました。

DNV は、キリンホールディングスが、上記 3 つのプロジェクトにソーシャルボンドで調達した 200 億円の資金を全額充当し、未充当は生じていないことを確認しました。

#### (4) レポーティング

DNV は、SBP 及び SBGLs で要求されるソーシャルボンド特定の情報に関して、キリンホールディングスのウェブサイトにて年次報告する予定であることを確認しました。

年次報告は、調達資金がプロジェクトに充当され生産設備が稼働するまでの間、下記に記載する資金充当状況及び社会的便益を報告する予定です。

主要な報告項目は以下を予定しています。

##### <資金充当状況>

- ◆ 充当対象となる適格クライテリア及び充当金額：ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資(73 億円)、シチコリン製造に資する原材料の調達(95 億円)、プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資、運営、原材料の調達、プラズマ乳酸菌の研究開発(32 億円)
- ◆ 未充当金の残高及び運用方法：未充当金残高なし、現金にて管理
- ◆ 調達資金のうちリファイナンスに充当された金額：ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資(63 億円)、シチコリン製造に資する原材料の調達(56 億円)、プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資、運営、原材料の調達、プラズマ乳酸菌の研究開発(29 億円)

##### <社会的便益>

- ◆ ヒトミルクオリゴ糖製造：製造設備完成
- ◆ シチコリン製造(食品)：製品の継続使用者数 51 万人  
(算定方法：販売量÷1 日当たり摂取量÷使用期間 12 か月)
- ◆ シチコリン製造(医薬)：製品の継続使用者数 102 万人  
(算定方法：販売量÷1 日当たり摂取量÷使用期間 6 か月)
- ◆ プラズマ乳酸菌製造：製品の継続使用者数 64 万人  
(算定方法：販売量÷1 日当たり摂取量÷使用期間 12 か月)





## 評価結果

DNV は、キリンホールディングスから提供された情報と実施された業務に基づき、キリンホールディングスがソーシャルボンド適格性評価手順の要求事項を満たしており、SBP 及び SBGLs の「社会への利益を伴う新規プロジェクトもしくは既存プロジェクトへの資本調達及び投資を可能にする」というソーシャルボンドの定義・目的と一致していることを意見表明します。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2023 年 6 月 23 日

**マーク ロビンソン**  
サステナビリティサービス マネージャー  
DNV ビジネス・アシュアランス、オーストラリア

**前田 直樹**  
代表取締役社長  
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

**金留 正人**  
プロジェクトリーダー  
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

**宮本 育昌**  
チームリーダー  
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

## About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight.

With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

## Disclaimer

Responsibilities of the Management of the Issuer and the Second-Party Opinion Providers, DNV : The management of Issuer has provided the information and data used by DNV during the delivery of this review. Our statement represents an independent opinion and is intended to inform the Issuer management and other interested stakeholders in the Bond as to whether the established criteria have been met, based on the information provided to us. In our work we have relied on the information and the facts presented to us by the Issuer. DNV is not responsible for any aspect of the nominated assets referred to in this opinion and cannot be held liable if estimates, findings, opinions, or conclusions are incorrect. Thus, DNV shall not be held liable if any of the information or data provided by the Issuer's management and used as a basis for this assessment were not correct or complete.



## スケジュール-1 ソーシャルボンド プロジェクトリスト

表中のプロジェクトは、ソーシャルボンド債券発行後(2023年3月現在)、既に充当されたプロジェクトです。

大項目	ソーシャルプロジェクト分類	適格プロジェクト	対象者	社会的便益	充当時期(実績)	充当額
主に乳幼児の健康増進/病 気予防を通して健康・長寿 社会の達成に貢献する事業	必要不可欠なサービスへのア クセス (健康・健康管理)	ヒトミルクオリゴ糖製造に資 する設備投資	一般大衆	ヒトミルクオリゴ糖配合製品を提供 し、幅広い地域・年齢層のお客様の 健康増進に貢献	2022年6-12月 (充当完了)	73億円*1 (リファイナンス割合 86.8%)
脳機能パフォーマンス向上と 衰え予防を通して健康・長 寿社会の達成に貢献する事 業		シチコリン製造に資する 原材料の調達	一般大衆、高齢者、 患者	シチコリン配合製品を健康食品や医 薬品原料として提供し、お客様の脳 機能のパフォーマンス向上と衰え予防 に貢献	2022年6-12月 (充当完了)	95億円 (リファイナンス割合 58.7%)
免疫機能の維持を通して健 康・長寿社会の達成に貢献 する事業		プラズマ乳酸菌原料粉 末の製造に資する設備 投資、運営、原材料の 調達、プラズマ乳酸菌の 研究開発	一般大衆、高齢者、 脆弱な若者	プラズマ乳酸菌配合製品を提供し、 お客様の免疫機能維持に貢献	2022年6-12月 (充当完了)	32億円 (リファイナンス割合 90.0%)
					合計	200億円 (リファイナンス割合 74.0%)

\*1：充当は現地通貨で行われていますが、DNV はアセスメントを通じ、円換算での充当額が適切であることを確認しました。



## スケジュール-2 ソーシャルボンド適格性評価手順

下記のチェックリスト(SBP-1 ~ SBP-4)は、ソーシャルボンド原則 2021 を基に、キリンホールディングス フレームワーク適格性評価用に作成された DNV 手順です。評価作業における「確認した文書」は、発行体の内部文書等が含まれ発行体から DNV に対して適格性判断の証拠として提供されています。

### SBP-1 調達資金の用途

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1a	ボンドの種類	ソーシャルボンドの種類は SBP で定義される以下の種類のいずれかに分類される。 ・(標準的)ソーシャルボンド ・ソーシャルレバニューボンド ・ソーシャルプロジェクトボンド ・その他	確認した文書類： ・キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク(以下、フレームワーク) ・ソーシャルボンド定期レビュー資料 関係者へのインタビュー	評価作業を通じキリンホールディングスのソーシャルボンドは以下のカテゴリに分類されることを確認した。  (標準的)ソーシャルボンド
1b	ソーシャルプロジェクト分類	ソーシャルボンドにおいて肝要なのは、その調達資金がソーシャルプロジェクトのために使われることであり、そのことは、ソーシャルボンド発行に係る法的書類に適切に記載されるべきである。	確認した文書類： ・フレームワーク ・ソーシャルボンド定期レビュー資料	資金調達の全額が、以下のプロジェクトに充当されたことを確認した。 「必要不可欠なサービスへのアクセス(健康、健康管理)」
1c	社会面での便益	調達資金用途先となる全てのソーシャルプロジェクトは明確な社会面での便益を有すべきであり、その効果は発行体によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。	確認した文書類： ・フレームワーク ・ソーシャルボンド定期レビュー資料 関係者へのインタビュー	DNV は、ソーシャルプロジェクトが、発行体によって客観的な社会課題であること、地域性の考慮、プロジェクト実行による受益者及び社会貢献(成果)が明確にされていることを確認した。 具体的には、各ソーシャルプロジェクトはそれぞれ、ヒトミルクオリゴ糖製造は幅広い地域・年齢層のお客様の健康増進に、シチコリン製造はお客様の脳機能改善に、プラズマ乳酸菌製造はお客様の免疫機能の維持に資する社会的便益を有していることを確認した。その効果は、継続使用者の人数で定量的に評価されていることを確認した。
1d	リファイナンスの割合	調達資金の全部あるいは一部がリファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、発行体は、初期投資に使う分とリファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトポートフォリオがリファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。	確認した文書類： ・フレームワーク ・ソーシャルボンド定期レビュー資料 関係者へのインタビュー	ソーシャルボンドにより調達した資金はスケジュール-1 に掲げるソーシャルボンド プロジェクトに 100% 充当されたことを確認した。 キリンホールディングスは、年次のレポートで対象となるプロジェクトおよびリファイナンス比率を報告する予定である。

## SBP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	<p>ソーシャルボンドの発行体はソーシャルファイナンス調達資金の用途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限定されるものではない)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発行体が、対象となるプロジェクトが適格なソーシャルプロジェクトの事業区分に含まれると判断するプロセス</li> <li>ソーシャルボンド調達資金の用途となるプロジェクトの適格性についての規準作成</li> <li>社会面での持続可能性に係る目標</li> </ul>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレームワーク</li> <li>ソーシャルボンド定期レビュー資料</li> <li>プロジェクト選定記録</li> </ul> <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>キリンホールディングスが、経理部及び CSV 戦略部がフレームワークで定めた適格クライテリアを満たすプロジェクト(適格プロジェクト)として選定し、財務戦略担当執行役員が選定された適格プロジェクトの最終決定を行ったことを確認した。</p> <p>また、キリンホールディングスが、当該プロジェクトの選定に当たり「適用又は参照される基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響を評価、検討し、環境・社会的リスクを事前に確認していることを確認した。</p>
2b	発行体の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	<p>ソーシャルボンドプロセスに関して発行体により公表される情報には、規準、認証に加え、ボンド投資家は発行体のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレームワーク</li> <li>ソーシャルボンド定期レビュー資料</li> </ul> <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>キリンホールディングスのソーシャルプロジェクトは、キリンホールディングスの「CSVパーパス」や「長期経営構想 キリングroup・ビジョン2027(KV2027)」と一致しており、プロジェクトの実行に際しては、環境関連法令、条例、諸規則及び当該地域との協定の遵守、周辺環境への配慮などが考慮されていることを確認した。また、ソーシャルプロジェクトによる社会的便益が明確になっていることを、フレームワーク等の文書確認や関係者へのインタビューを通じて確認した。</p>

### SBP-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	ソーシャルボンドによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、ソーシャルプロジェクトに係る発行体の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、発行体によって証明されるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>• フレームワーク</li> <li>• ソーシャルボンド定期レビュー資料</li> </ul> 関係者へのインタビュー	DNVは文書レビューとインタビューにより資金管理で要求される以下の内容を確認した。  調達資金の全てはキリンホールディングスの口座に入金、グループ会社、現地法人を通じてスケジュール-1で示された当該プロジェクトへ充当された。また、ソーシャルボンドにより調達された資金は、充当先及び金額を内部管理システムにて管理されていることを確認した。
3b	調達資金の追跡管理-2	ソーシャルボンドの実行期間において、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>• フレームワーク</li> <li>• ソーシャルボンド定期レビュー資料</li> </ul> 関係者へのインタビュー	DNVは文書レビューとインタビューにより資金管理で要求される以下の内容を確認した。  ソーシャルボンドによる調達資金の追跡管理(入金と残高確認)はキリンホールディングス経理部が毎月実施し、内部管理システム及び社内規程で管理されていた。
3c	一時的な運用方法	適格性のあるソーシャルプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、発行体は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>• フレームワーク</li> <li>• ソーシャルボンド定期レビュー資料</li> </ul> 関係者へのインタビュー	DNVは文書レビューとインタビューにより資金管理で要求される以下の内容を確認した。  調達資金は全額充当し、未充当資金は無い。また、実際の充当時期までの間、現金にて管理された。



## SBP-4 レポートニング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
4a	定期レポートの実施	<p>調達資金の用途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、発行体はソーシャルボンドで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を考慮した上で、各プロジェクトのリストを提供すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-守秘義務や競争上の配慮</li> <li>-各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境</li> <li>-社会的な効果</li> </ul>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フレームワーク</li> <li>• ソーシャルボンド定期レビュー資料</li> </ul> <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>キリンホールディングスはソーシャルボンドで要求される特定の項目についてキリンホールディングスのウェブサイトにて情報開示(資金充当レポートニング・インパクトレポートニング)を行う予定であることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 充当対象となる適格クライテリア及び充当金額：ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資(73億円)、シチコリン製造に資する原材料の調達(95億円)、プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資、運営、原材料の調達、プラズマ乳酸菌の研究開発(32億円)</li> <li>• 未充当金の残高及び運用方法：未充当金残高なし、現金にて管理</li> <li>• 調達資金のうちリファイナンスに充当された金額：ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資(63億円)、シチコリン製造に資する原材料の調達(56億円)、プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資、運営、原材料の調達、プラズマ乳酸菌の研究開発(29億円)</li> <li>• ヒトミルクオリゴ糖製造：生産設備完成</li> <li>• シチコリン製造(食品)：製品の継続使用者数 51万人</li> <li>• シチコリン製造(医薬)：製品の継続使用者数 102万人</li> <li>• プラズマ乳酸菌製造：製品の継続使用者数 64万人</li> </ul>